



CHAPTER 2

サーバの設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「サーバの設定値」(P.2-1)
- 「関連項目」(P.2-6)

サーバの設定値

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム (System)] > [サーバ (Server)] メニューパスを使用して、サーバを設定します。

[サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウでは、Cisco Unified Communications Manager がインストールされているサーバのアドレスを指定します。

サーバの設定のヒント

サーバを設定する前に、次の点を確認してください。

- 各サーバは、[サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウで一度だけ追加するようにしてください。ホスト名を使用してサーバを追加し、その後同じサーバを IP アドレスを使用して再び追加すると、Cisco Unified Communications Manager は、Cisco Unified Communications Manager のアップグレード後にサーバのコンポーネントバージョンを正しく判別できません。Cisco Unified Communications Manager の管理ページに同じサーバのエントリが 2 つある場合は、アップグレード前にエントリのどちらかを削除します（「[サーバの削除のヒント](#)」(P.2-2) を参照）。
- Cisco Unified Communications Manager の新規インストールを実行するときには、2 番目以降の各サーバ（ノード）上に Cisco Unified Communications Manager をインストールする前に、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウで、それらの各サーバを定義する必要があります。2 番目以降のノードを定義するには、[新規追加 (Add New)] をクリックし、「[サーバの設定のヒント](#)」(P.2-1) の手順を実行します。2 番目以降のサーバを追加したら、そのサーバに Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアをインストールすることができます。
- ネットワークで IPv4 を使用する場合は、適切な Cisco Unified Communications Manager 名とアドレス情報で、まず DNS サーバを更新した後、その情報を使用して、Cisco Unified Communications Manager サーバを設定する必要があります。

**注意**

ネットワークで IPv6 またはデュアルスタック モードの IPv4 および IPv6 がサポートされている場合は、Cisco Unified Communications Manager リリース 7.0(x) からリリース 8.5(1) にアップグレードする前に、IPv6 用 DNS サーバをプロビジョニングできます。ただし、リリース 8.5(1) へのアップグレードが終了するまで、IPv6 用 Cisco Unified Communications Manager の DNS レコードを設定しないでください。リリース 8.5(1) にアップグレードする前に IPv6 用 Cisco Unified Communications Manager の DNS レコードを設定すると、アップグレードが失敗し、リブート後にシステムが機能しなくなります。

- DNS を正常に動作させるため、必ず、すべてのサーバ（ダミー ノードを含む）の IP アドレスを DNS サーバ上のホスト名にマップしてください。この作業を行わないと、Cisco Unified Communications Manager により、License Manager サービスがダウンしていることを示すアラームが生成されます。
- Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、どのような状況でも [ホスト名/IP アドレス (Host Name/IP Address)] フィールドを更新できなくなることはありません。
- [サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウで IP アドレスを変更する場合、設定の保存を実行すると、「サーバの名前/IP アドレスの変更は、Cisco Unified CallManager に問題が発生する原因となる場合があります。続行しますか?(Changing the name/IP Address of the server may cause problems with Cisco Unified CallManager. Are you sure that you want to continue?)」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックする前に、[ホスト名/IP アドレス (Host Name/IP Address)] フィールドの更新が及ぼす影響について必ず理解しておいてください。たとえば、この設定を誤って更新した場合、Cisco Unified Communications Manager が動作不能になることがあります。つまり、データベースが動作しない、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにアクセスできない、などの問題が発生することがあります。また、このフィールドを更新する場合、他の関連作業を実行しないと、Cisco Unified Communications Manager に問題が発生することがあります。
- サーバ設定の変更を有効にするには、Cisco Unified Communications Manager を再起動します。Cisco CallManager サービスの再起動については、『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』を参照してください。
- IP アドレスまたはホスト名の変更の詳細については、『Changing the IP Address and Host Name for Cisco Unified Communications Manager Release 8.5(1)』を参照してください。

サーバの削除のヒント

Cisco Unified Communications Manager データベースからサーバを削除する手順、および削除したサーバを再び Cisco Unified Communications Manager クラスタに追加する手順は、次のとおりです。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、クラスタの最初のノードは削除できませんが、2 番目以降のノードは削除できます。[サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ウィンドウで 2 番目以降のノードを削除しようとする、Cisco Unified CM の管理ページに、「1 つ以上のサーバを完全に削除しようとしています。この操作を取り消すことはできません。続行しますか?(You are about to permanently delete one or more servers. This action cannot be undone. Continue?)」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックすると、そのサーバは Cisco Unified CM データベースから削除され、以後使用できなくなります。

**ヒント**

[サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウでサーバを削除しようとする、前述と同様のメッセージが表示されます。[OK] をクリックすると、そのサーバは Cisco Unified CM データベースから削除され、以後使用できなくなります。

サーバを削除する前に、次の点を考慮してください。

- Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、クラスタ内の最初のノードを削除できませんが、2 番目以降のノードは削除できます。
- Cisco Unified Communications Manager が動作しているノード、特に、電話機などのデバイスが登録されているノードは削除しないことをお勧めします。
- 2 番目以降のノードに関する依存関係レコードが存在する場合でも、そのレコードが原因でノードが削除できなくなることはありません。
- 削除するノードの Cisco Unified Communications Manager にコール パーク番号が設定されている場合は、削除できません。ノードを削除するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでコール パーク番号を削除しておく必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager の管理ページの設定フィールドに削除するサーバの IP アドレスまたはホスト名が含まれている場合は、サーバを削除する前に設定を更新してください。この作業を行わないと、サーバの削除後、その設定に依存する機能が動作しなくなる場合があります。たとえば、サービス パラメータ、エンタープライズ パラメータ、サービス URL、ディレクトリ URL、IP Phone サービスなどに IP アドレスまたはホスト名を入力した場合は、サーバを削除する前に、この設定を更新してください。
- たとえば Cisco Unity、Cisco Unity Connection などのアプリケーションの GUI に削除するサーバの IP アドレスまたはホスト名が含まれている場合は、サーバを削除する前に、対応する GUI の設定を更新してください。この作業を行わないと、サーバの削除後、その設定に依存する機能が動作しなくなる場合があります。
- サーバを削除すると、MOH サーバなどのデバイスも自動的に削除される場合があります。
- ノードを削除する前に、2 番目以降のノードでアクティブになっているサービスを非アクティブにしておくことをお勧めします。この作業を実行しておくこと、ノードの削除後にサービスが動作することが保証されます。
- サーバ設定の変更を有効にするには、Cisco Unified Communications Manager を再起動します。Cisco CallManager サービスの再起動については、『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』を参照してください。
- データベース ファイルが正しく更新されるようにするには、サーバの削除後にクラスタをリポートする必要があります。
- ノードの削除後、Cisco Unified Reporting にアクセスして、Cisco Unified Communications Manager でクラスタからノードが削除されたことを確認してください。さらに、Cisco Unified Reporting、RTMT、または CLI にアクセスして既存のノード間でデータベース リプリケーションが行われていることを確認し、必要であれば、CLI を使用してノード間のデータベース リプリケーションを修復してください。

削除したサーバを再びクラスタに追加する手順

Cisco Unified Communications Manager の管理ページから 2 番目以降のノード（サブスクリイバ）を削除し、それを再びクラスタに追加する場合は、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[システム (System)] > [サーバ (Server)] の順に選択してサーバを追加します。
 - ステップ 2** 2 番目以降のノードを Cisco Unified Communications Manager の管理ページに追加したら、シスコから提供されたソフトウェア キットのディスクを使用して、そのサーバ上でインストールを実行します。



ヒント たとえば、バージョン 8.5(1) ディスクがある場合は、ノード上で 8.5(1) のインストールを実行します。たとえば、互換性のあるバージョンの 6.1(3) ディスクがある場合は、そのディスクを使用して、2 番目以降のノードに Cisco Unified CM をインストールします。インストール時に複数のオプションが表示されたら、[Upgrade During Install] オプションを選択します。

2 番目以降のノードにインストールするバージョンが、クラスタ内の最初のノード（パブリッシャ）で動作しているバージョンと一致していることを確認してください。

クラスタ内の最初のノードで Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) バージョンおよび Service Update（または Engineering Special）が動作している場合は、インストールでいくつかのインストール オプションが表示されたときに [Upgrade During Install] オプションを選択する必要があります。このオプションを選択する前に、DVD またはリモート サーバ上の Service Update（または Engineering Special）イメージにアクセスできることを確認してください。インストールの実行方法の詳細については、ご使用のバージョンの Cisco Unified Communications Manager に対応するインストレーション マニュアルを参照してください。

- ステップ 3** Cisco Unified CM をインストールした後で、2 番目以降のノードを設定します（ご使用のバージョンの Cisco Unified CM に対応するインストレーション マニュアルを参照）。
- ステップ 4** Cisco Unified Reporting、RTMT、または CLI にアクセスして既存のノード間でデータベース リプリケーションが行われていることを確認し、必要であれば、ノード間のデータベース リプリケーションを修復します。

GUI の使用方法

Cisco Unified Communications Manager の管理の Graphical User Interface (GUI; グラフィカル ユーザ インターフェイス) を使用してレコードを検索、削除、設定、またはコピーする方法については、「Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションでの操作」(P.1-13) およびそのサブセクションを参照してください。GUI の使用方法とボタンおよびアイコンの機能の詳細が説明されています。

設定値表

表 2-1 では、サーバの設定値について説明します。関連する手順については、「関連項目」(P.2-6) を参照してください。

表 2-1 サーバの設定値

フィールド	説明
[サーバ情報 (Server Information)]	
[ホスト名/IPアドレス (Host Name/IP Address)]	<p>ネットワークで IPv4 アドレスにマップできる DNS を使用している場合、Cisco Unified Communications Manager サーバのホスト名を入力します。使用していない場合は、サーバの完全な IPv4 アドレスを入力する必要があります。</p> <p>ヒント ネットワークで IPv6（または IPv4 と IPv6）がサポートされている場合は、[ホスト名/IPアドレス (Host Name/IP Address)] フィールドに加えて [IPv6名 (IPv6 Name)] フィールドも設定します。</p> <p>(注) 適切な Cisco Unified Communications Manager 名とアドレス情報で、まず DNS サーバを更新した後、その情報をこのフィールドに入力する必要があります。</p>

表 2-1 サーバの設定値 (続き)

フィールド	説明
[サーバ情報 (Server Information)]	
[IPv6 名 (IPv6 Name)]	<p>このフィールドは IPv6 をサポートします。ネットワークで IPv6 アドレスにマップできる DNS を使用している場合、Cisco Unified Communications Manager サーバのホスト名を入力します。使用されていない場合、Cisco Unified Communications Manager サーバの非リンク ローカル IP アドレスを入力します。非リンク ローカル IP アドレスを取得する方法については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[イーサネット IPv6(Ethernet IPv6)] ウィンドウでの IPv6 CLI コマンドの実行および IPv6 の設定」を参照してください。</p> <p>このフィールドは、TFTP 設定ファイルに含まれており、Cisco Unified Communications Manager サーバの IPv6 アドレスを取得するために SCCP を実行している電話機によって使用されるので、電話登録が行われます。</p> <p>ヒント 必ず、適切な Cisco Unified Communications Manager 名とアドレス情報で DNS サーバを更新してください。</p> <p> 注意 ネットワークで IPv6 またはデュアルスタック モードの IPv4 および IPv6 がサポートされている場合は、Cisco Unified Communications Manager リリース 7.0(x) からリリース 8.5(1) にアップグレードする前に、IPv6 用 DNS サーバをプロビジョニングできます。ただし、リリース 8.5(1) へのアップグレードが終了するまで、IPv6 用 Cisco Unified Communications Manager の DNS レコードを設定しないでください。リリース 8.5(1) にアップグレードする前に IPv6 用 Cisco Unified Communications Manager の DNS レコードを設定すると、アップグレードが失敗し、リポート後にシステムが機能しなくなります。</p> <p>ヒント [IPv6 名 (IPv6 Name)] フィールドの設定に加えて、Cisco Unified Communications Manager が IPv4 (または IPv4 と IPv6) を使用する機能/デバイスをサポートできるように、[IP アドレス (IP Address)] または [ホスト名 (Hostname)] フィールドを設定する必要があります。</p>
[MAC アドレス (MAC Address)]	<p>このフィールドはオプションです。サーバの MAC アドレスをメモする場所のみ使用します。システムにはまったく影響しません。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager サーバにあるネットワーク インターフェイス カード (NIC) のメディア アクセス制御 (MAC) アドレスを入力します。MAC アドレスは、NIC のパーマネント ハードウェア アドレスを示します。</p> <p>ヒント サーバをネットワーク上の別の場所に移動させることが多い場合は、MAC アドレスを入力して、そのサーバをネットワーク上の他のデバイスが常に識別できるようにする必要があります。サーバを移動する予定がない場合は、MAC アドレスは入力しなくてもかまいません。</p>

表 2-1 サーバの設定値 (続き)

フィールド	説明
[サーバ情報 (Server Information)]	
[説明 (Description)]	このエントリはオプションです。 サーバの説明を入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、または山カッコ (<>) は使用できません。

追加情報

「関連項目」(P.2-6) を参照してください。

関連項目

- 「サーバの設定」(P.2-1)
- 「サーバの設定値」(P.2-1)
- 「Cisco Unified Communications Manager の設定」(P.3-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「インターネットプロトコルバージョン 6 (IPv6)」
- 『Changing the IP Address and Host Name for Cisco Unified Communications Manager Release 8.5(1)』